

全員協議会

(12月14日開会)

※全員協議会とは、町の重要な問題について検討するために議員全員が集まって開かれる会議です。町執行部から説明を受けたり、意見を述べたりします。

○広川町議会議員及び広川町長選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の制定

Q 公費負担の上限を超えた場合は。不正時の罰則は。

A 自己負担である。事前の届け出を確認するのみ。

Q 提出書類の形式、入手方法は。

A 施行規則で定める。今後作成し、候補者説明会で配布する。

○新庁舎建設の進捗について

A 什器類の選定作業中。既存施設の解体改修工事中。PCB廃棄物処分費用が発生。井戸の試掘調査を実施、問題がなければポンプを据える。

Q 井戸の使用目的は。雑用水。

○広川町印鑑条例及び広川町手数料条例の一部改正

Q 役場とコンビニの端末が接続するということか。

A そうではない。国のシステム利用に参加するものでありセキュリティは担保されている。

○第4次総合計画（改訂版）の策定について

Q 基本理念引継ぎの理由は。

A 令和2年度までの10年間の第4次総合計画を3年延長するものであり、引継ぎが前提である。

○公共下水道事業について

Q 令和3年度から7年度の5年間の整備予定区域について、財政状況を考慮し、事業費を当初より抑える方針が進める。整備予定区域は、久泉・智徳・一條・北新代の一部区域。

Q 町単独の考えでなく、矢部川処理区として進められないか。

A 各地域の進捗状況も取りよせてみる。

Q 現在までの進捗状況は。

A 56・9%。当初計画から20年遅れている。

Q 公営浄化槽の考えは。

A 近隣の調査をして、整合性を考慮して検討する。

八女公立総合病院の今後を考える

病院は、施設や医療機器の老朽化が進んでいる。加えてここ数年は大幅な赤字が続いており、今後の在り方が問われている。

こうした状況を踏まえ、令和元年「病院機能再生整備検討会」を同年12月に設置、「医療圏の課題、持続可能な医療提供体制と効率的な病院運営」を要旨とする「病院事業の今後の役割と整備方針」がまとまった。

その後コロナ対策で対応が遅れたが、漸く令和2年12月企業団会議において、中断していた「企業団構成自治体会議（メンバーが首長等）の日程が示された。その経過は次の通り。

▽平成31年2月4日

企業団構成自治体会議「病院機能再生整備に関する調査」を検討

▽令和元年8月

第1回病院機能再生検討委員会

▽令和元年12月

第6回委員会「病院事業の今後の役割及び整備方針」を答申

▽令和2年1月

企業団構成自治体首長に「答申」を送付

▽同年2月

八女市議会全員協議会において説明

▽同年3月

広川町議会全員協議会において説明

▽同年12月

企業団議会全員協議会にて「今後の進め方」を説明、令和3年1月の「企業団構成自治体会議」再開を明示。

▼広川町の推進経過

・平成29年9月、「今後の病院事業の展望」に対する調査に、「早期の民間への譲渡が最も適切な選択である」と回答している。一方八女市は「今後とも公立として残していくことが適当である」としており方針が対峙している。